

見栄えのするシンボル花壇

【講習開催日】 令和3年7月26日

【場所】 いの山南公園（栄区）

【現状と課題】

- ・公園内の他の花壇と同じ植物が植わっており、区別ができていない。
- ・ボリュームの大きくなる宿根草が多いため、花壇内が混みあっている。

【花壇づくりの方針】

- ・子供から大人まで親しめる『花壇』として、周囲の宿根草花壇と差別化を図る。
- ・既存の資材（レンガ）を有効活用し、空間にメリハリをつける。

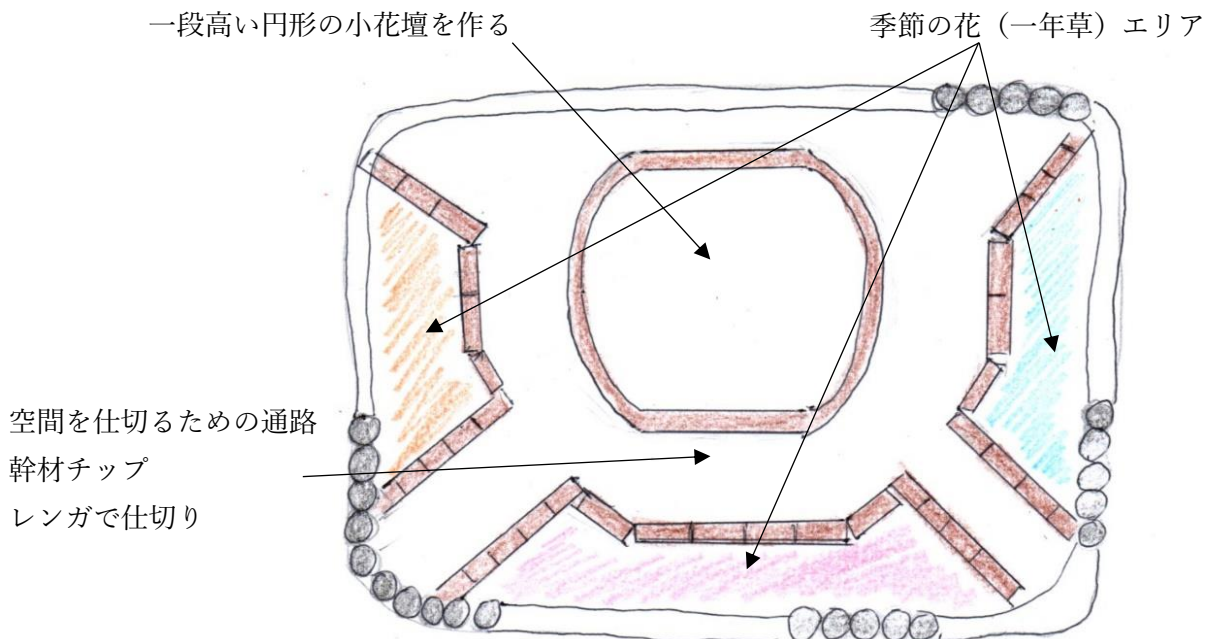
【植物を選ぶポイント】

- ・色を絞る（様々な色を使い過ぎない）。同系色のグラデーションはOK。
- ・花の形（大輪系、小花系）や葉の大きさに変化をつける。
- ・植物の高さに変化をつける（背の高くなる植物とグランドカバープランツ等）。
- ・カラーリーフでアクセントをつける（斑入葉ばかりもゴチャゴチャするので注意）。

【植物を植える時のポイント(配置)】

- ・同じ植物を4~5ポット寄せて植え、まとまりを作る。
- ・等間隔（畑植え）ではなく、ランダムに配置する。

【イメージ】





① 講座前

この山南公園は、公園愛護会の皆様が植物を大切に育てながらたくさんの花壇を管理しており、宿根草に囲まれた素敵な公園です。

しかし、全ての公園内の花壇が同調し、ボリュームの大きくなる宿根草が多いため、空間が混みあってしまっています。



② 事前準備 (その1)

既存の宿根草を移植したり、埋もれていたレンガ等を掘り出して整地しました。



③ 事前準備 (その2)

埋もれていたレンガや花壇ブロックを活用して高低差を設け、区画を分ける等、形をイメージします。



④ 花壇内の区画整理

レンガを使用して、植え込み部分と通路の区分けをしていきます。レンガは縦置きにし、倒れないように半分程埋め込んでいきました。

レンガが割れないように、ゴムハンマーで軽く叩きながら高さを調整していきます。



⑤ 防草シート敷き

雑草が生えづらくなるように、通路部分には防草シートを敷いていきます。

ハサミやカッターで切りながら、専用の固定ピンでとめていきます。



⑥ 植え込み部分の土壌改良

古い根や石を取り除きながら、堆肥や培養土を入れ耕していきます。



⑦ 区画整理完了

花壇の植物も手入れが必要です。中央の円形部分も手入れがしやすいように、管理通路を設けました。

また、管理用通路を設けることによって、4つのゾーンが明確になりました。



⑧ 植物配置と植え込み作業

植物を仮置きして間隔調整をします。
黄色が主役、ピンクが主役というようにゾーンごとに季節の一年草を色分けしていきます。



植物は整列したように植えてしまうと、畑のようになってしまいます。ランダムにずらしながら配置をしていきます。
季節の一年草は3ポットで1かたまりとし、その間に宿根草を配置していきます。



以前植わっていたラベンダーは、中央の円形花壇にシンボルツリーとして植え戻しました。



配置が決まったら、植えていきます。
根鉢が土から出てしまったり（浅植え）、深く植えすぎたりしないように注意します。
ポットから取り出した時に根が回っているものは、軽くほぐしてから植え付けましょう。



⑨ 通路の仕上げ

クッション材として、市内の公園等から出た樹木の幹材を破砕した生チップを通路に敷きつめていきます。



⑩ 完成

シンボル花壇の完成です。

植えたばかりは少し寂しく感じますが、植物の生長とともに華やかな花壇になります。雑然としないように使用する花苗の色を極力抑え、背の高くなる植物と地表を覆うグラウンドカバープランツなど、高低差のバランスも考えながらデザインしています。

■使用植物

宿根草

	<p>ヒューケラ 常緑性でほとんど手入れは必要ありません。 耐陰性があり、シェードガーデンなどにも活躍します。 カラーバリエーションも豊富で、花壇や寄せ植えにはとても便利な植物です。</p>
	<p>アジュガ 耐寒性、耐暑性がとても強く、ほとんど手入れは必要ありません。 ほふく性で横にどんどん広がって増えていきます。 春にはピンクや青紫色の可愛い花を咲かせます。 グリーンや少しピンク色の斑入りがある品種もあります。</p>
	<p>リシマキア オーレア 耐寒性もあり、半日陰でもよく育ちます。 横に広がって成長するので、グランドカバーに最適です。 夏季の蒸れに少し弱いので、風通しの良い場所で育ててください。</p>
	<p>ローズマリー（這性） 常緑低木ですが、這うようにして成長する品種です。 葉には強い香りがあり、料理や香料にも使われます。 日当たりが良く、水はけの良い場所で育ててください。</p>

季節の花苗（一年草）



アンゲロニア

初夏から秋まで楽しめ、暑さに強く丈夫なお花です。
お花が咲き終わった茎は、茎元からカットしましょう。そうすることで、次の蕾に栄養を行き届かせて次々とお花を咲かせてくれます。
背丈が高くなるので、花壇や寄せ植えで高低差を出したい時には最適です。



ジニア

初夏から秋まで楽しめ、暑さに強く丈夫なお花です。
お花が咲き終わった茎は、茎元からカットしましょう。そうすることで、次の蕾に栄養を行き届かせて次々とお花を咲かせてくれます。
背丈が高くなるので、花壇や寄せ植えで高低差を出したい時には最適です。



マリーゴールド

開花期が長く、春から秋まで楽しめる暑さに強いお花です。
お花が咲き終わった茎は、茎元からカットしましょう。そうすることで、次の蕾に栄養を行き届かせて次々とお花を咲かせてくれます。
日当たりが良く、水はけの良い場所で育ててください。



ニチニチソウ

開花期が長く、初夏から秋まで楽しめる暑さに強いお花です。
咲き終わった花は適宜摘み取りましょう。そうすることで、次の蕾に栄養を行き届かせて次々とお花を咲かせてくれます。
日当たりが良く、水はけの良い場所で育ててください。